

## ★ 第 127 回 日本社会分析学会例会プログラム ★

日程：2014 年 8 月 30 日（土）～8 月 31 日（日）

会場：九州大学西新プラザ（中会議室）

（〒814-0002 福岡市早良区西新 2-16-23）

※持ち時間は 30 分（報告 20 分：質疑 10 分）が標準、L は 60 分（報告 40 分：質疑 20 分）です。レジュメや資料は 40 部程度ご準備ください。報告にてプロジェクター、DVD、ビデオが使えます。

### 8 月 30 日（土）

理事会 12:00～13:20（中会議室／昼食はお弁当を準備します。）

開 会 13:30

自由報告部会 I（13:30～15:00） 司会：速水 聖子（山口大学）

1. 「HTLV-1 関連疾患をめぐる無理解の諸相」 桑畑 洋一郎（梅光学院大学）
2. 「アートがもたらすエンパワーメントの意義  
-『アートセラピーの全国実態調査』から見える姿」（L） 兼子 一（神戸医療福祉大学）

=Coffee Break(10 分)=

若手企画特別部会（15:10～16:40） コーディネーター：里村 和歌子（九州大学）

#### 草の根保守とジェンダー —— 男女共同参画バッシングをいとぐちに

ジェンダー平等が実現した社会を目指す男女共同参画社会基本法の制定から 15 年。新しい家族のあり方が模索されるなか、「共働き」社会への環境整備が急ピッチですすんでいる。その一方で、その動きに反対する、もしくは置いていかれると感じる女性たちがいる。本企画では保守運動とそのような女性たちの関係性に迫るふたつの報告を行うことで、昨今の排外主義の隆盛を視野に、これからのジェンダー平等社会の可能性について多角的に探っていく。

◇報告 1：【招待講演】「主婦たちの男女共同参画反対運動」 鈴木 彩加（大阪大学）

男女が対等な構成員としてあらゆる分野へ参画する社会の実現を謳う男女共同参画社会基本法は、2000 年代前半に保守系市民団体によって「家族を破壊する」「専業主婦を否定する」として激しく批判されることになるが、この日本で初めて生じたと言われるバックラッシュ（＝反動）運動には男性だけでなく、主婦を自称する女性たちも数多く参加していた。本報告では、これらの女性たちに着目することで、男性／女性、保守運動／フェミニズムといった単純な二項対立図式には回収され得ない、今日の保守運動の多層性・複雑性を提示する。

◇報告 2：「男女共同参画社会と主婦」里村 和歌子（九州大学）

2014 年 4 月安倍首相が「女性が輝く日本」を成長戦略として発表、同年秋からは関西圏限定で外国人家事労働者の受け入れ開始を決定するなど、日本の女性をとりまく社会環境は劇的に変わろうとしている。一方で、その動きに置いていかれると感じる女性たちがいる。本報告では未就学児を持つ母親たちに注目し、彼女たちへのインタビュー調査をとおして男女共同参画社会基本法が打ち出す理念と、子育て期の女性たちをとりまく現実とのギャップを浮き彫りにする。そしてそのギャップこそが保守運動の土壌を提供する可能性について考える。

◇コメンテーター：木下 直子（九州大学、特定非営利活動法人社会理論・動態研究所）

=Coffee Break(15分)=

総会 (16:55~17:45)

懇親会 (18:30~) 会場：レターレ (西新 1-7-27 西新オレンジ通り 092-822-8166)

(会費：有職者 5,000 円、非有職者 3,000 円)

## 8月31日(日)

自由報告部会Ⅱ (10:00~12:00) 司会：三隅 一人 (九州大学)

1. 「大学生における購買行動に関する予備的考察」 河野 文香 (九州大学)
2. “Analyzing Japanese Television Drama Series: Evaluating Content Change”  
ヨーターベルハグ  
Jotter Verhaeghe (九州大学)
3. 「原発事故の情報入手意識とその背景的要因」 江口 貴康 (島根大学)
4. 「社会科学系大学生の職業選択過程」 佐々木 武夫 (西南学院大学)

閉 会 12:05

### ●会場までの交通案内

- ・福岡空港・博多駅・天神からは地下鉄空港線が便利です。「姪の浜」方面行きの地下鉄に乗り、「西新」で下車、西新パレス方面の出口から地上に出て下さい。
- ・西鉄バス（西新方面の各線）をご利用の場合は、明治通り経由ですと「今川橋」下車、城南線経由ですと「西新」ないし「西新パレス前」下車になります。
- ・会場は次頁図のように、新今川橋西側の川沿いの道を歩いて10分ほどです。シーホークからは徒歩15分ほどです。会場には駐車場はありません。